

令和7年度

主要施策の概要

令和7年度の主な取組内容を紹介します。



第1の柱

安全・安心なまちづくりへの挑戦
自然を守り、
だれもが安全に安心して
住み続けたいくなるまち

その1 自然を大切にし、共に暮らす

本市の豊かな自然と生物多様性を将来に引き継ぐため、市民、自然環境団体と連携・協力して保全活動を推進します。

河川環境の保全につきましては、国と連携し、栗栖川まちづくり連携治水対策を推進するとともに、準用河川等の整備や浚渫土砂対策を計画的に進めます。

その2 持続可能な社会をつくる

昨年6月に宣言した「ゼロカーボンシティ」を推進するため、市内110施設の照明器具のLED化を進めるとともに、自治会管理街路灯のLED化を支援し、エネルギー効率の向上と温室効果ガスの削減を図ります。さらに、電気自動車の普及促進を図るため、揖保川総合支所に急速充電器を新設するとともに電気自動車を導入する市内事業者に対して購入費用の一部を支援します。

その3 良質な住環境を整備する

「龍野・IC周辺まちづくり区画整理事業」につきましては、街区形成に必要なインフラ施設の調査設計を引き続き実施し、一部工事に着手します。

空き家につきましては、「たつの市空家等対策に関する条例」を制定し、適正に管理されていない空き家に対して、緊急安全措置の実施、除却支援制度による

空き家の除却を促進するとともに、小規模な改修工事も対象とした空き家改修支援制度の拡充により、空き家の有効活用及び流通促進に努めます。

住宅取得等の支援につきましては、転入者や若者の住宅取得に対して、子育て加算を設けることで、転入・定住を促進します。

都市公園におきましては、老朽化対策やバリアフリー化、誰もが安全に楽しむことができるインクルーシブ化を進めます。具体的には、龍野公園、片山公園及び中川原グラウンドの整備を進めます。

JR龍野駅周辺におきましては、駅舎の橋上化整備のほか、駅前広場整備、既存の自由通路のバリアフリー化を進めます。JR千本駅につきましては、トイレを洋式化し、快適性を向上します。



龍野公園再整備イメージ図

その4 安全便利な交通環境を整える

幹線道路につきましては、引き続き損

認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を行うとともに、高齢者が行方不明になった際に早期に発見・保護する体制を強化するため、QRコード付きシールを配付します。

また、新たに小規模の単位老人クラブの活動に対して支援します。

その3 障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる

障害のある方への差別解消や合理的配慮を促進し、誰もが尊重され、支え合いながら安心して暮らせるまちを目指します。

また、「ユニバーサルスポーツフェス」を開催し、様々なパラスポーツ体験会などを通じて、相互理解と交流を深めます。

その4 共に助け合い、支え合うまちをつくる

高齢、障害、子ども、生活困窮等の複数分野にまたがる複雑化・複合化した生活課題における支援ニーズに包括的に対応するため、「重層的支援体制整備事業」に取り組み、「ふくし総合相談窓口」を核として、庁内外の幅広い部署・機関との横断的な連携を強化します。

不登校児や生活に困難を抱える世帯の子どもに対しては、新たに学習機会の提供を行います。

龍南北幹線道路(宮内バイパス)の整備を促進するとともに、「龍野・IC周辺まちづくり区画整理事業」に伴う県道の4車線化及び市道の交差点改良に取り組みます。

JR姫新線につきましては、線区の維持・存続に向け、JR西日本に継続して強く要望するとともに、令和7年1月にX(エックス)に開設した「姫新線ファンクラブ」を通じてイベント情報や沿線の観光情報を発信し、一層の利用促進に取り組めます。

その5 大切な命と地域を守る

自然災害に備え、非常食及び災害用トイレを計画的に備蓄します。



自然災害に備え、計画的に備蓄される非常食等

常備消防体制につきましては、西はりま消防組合において119番の通報内容を現場映像やGPS位置情報で把握できる「Live119映像通報システム」を導入し、各種災害の被害軽減や傷病者の救命率向上に努めるとともに、救急搬送システム「HEARTS(ハーツ)」では、救急傷病者の情報を複数の医療機関へ同時送信できるよう更新します。

さらに20周年記念事業として、消防出初式と同日に防災フェスタを開催し、幅広い世代の防火・防災意識の向上を図ります。

その5 生涯を健やかに過ごせる体制を整える

全身の健康や疾患に深く関係している歯周病の予防や高齢者のオーラルフレイル予防を推進するため、対象者へ歯科健診無料クーポンを発行します。また、骨粗しょう症検診を新たに個別医療機関での健診項目に加えるとともに、乳がん検診無料対象者の拡充、子宮がん検診においては、HPV検査を導入するなど健診内容の充実を図ります。

また、市内の中学3年生に対し、健康や医療に関する正しい情報を理解して活用することができるよう、思春期教育及びプレコンセプションケアを実施します。救急医療体制につきましては、救急車を呼ぶべきか迷った際の電話相談窓口として、「救急安心センター事業(＃7119)」を開始します。

第3の柱

ひとづくりへの挑戦
学都たつのの輝きと
歴史・文化が薫るまち

その1 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる

「大阪・関西万博」での校外学習を通じて、児童生徒が未来社会を体験し、未

第2の柱

やすらぎづくりへの挑戦
子育てにやさしく、
すべての市民が健やかに
暮らせるまち

その1 安心して子育てができるまちをつくる

子育て世帯の経済的負担を軽減し、地域社会全体で子育て支援を行う観点から、これまで取り組んできた中学生の学校給食の無償化に加え、その対象を小学生にまで拡充し、小学1年生から中学3年生まで全ての児童生徒の学校給食を完全無償化します。

高校生等の医療費につきましては、所得制限を撤廃し、18歳以下の医療費を完全無料化します。



西はりま消防組合で導入するLive119映像通報システム

その2 高齢者が暮らしやすい環境をつくる

保健・医療・福祉の連携のもと、高齢者の自立支援や介護予防に重点を置いた質の高いサービスの提供に努め、地域包括ケアシステムの更なる深化を図ります。



小学校での給食の様子

「たつの市こども家庭センター」におきましては、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談・支援に努めるとともに、ヤングケアラー支援に関する研修や出前講座を実施します。出会いや結婚を希望する若者に対して、「若者出会い応援セミナー」を開催します。



季節の行事に飾る
作品づくりに取り組まれる様子